

5 社会福祉学研究科

(1) 修士課程

応用力・指導力・実践力を兼ね備えた広義の社会福祉研究者・実践者を養成すること、ならびに、そのために必要な教育研究を行うことを、人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的とする。

① 社会福祉学専攻

社会福祉学のより新しく高度な知識や理論、技術を修得し、その高度な教育成果と研究成果の還元を通して、広く社会福祉に貢献できる研究者や専門的実践者を養成することを目的とする。

授業科目	必修	選択	備考
基礎共通領域群			修了要件 基礎共通領域群から4単位、ゼミナール群から仏教福祉研究ゼミナールあるいは社会福祉研究ゼミナール8単位を必修とし、基礎共通領域群、理論領域群、実践領域群から18単位以上の計30単位以上を修得したうえ、修士論文を提出し、審査および最終試験に合格すること。
仏教社会福祉特論	2		
社会福祉特論		2	
現代の社会福祉課題特論	2		
現代の教育福祉課題特論		2	
理論領域群			
地域福祉特論		2	
社会保障特論		2	
児童福祉特論		2	
高齢者福祉特論		2	
障害者福祉特論		2	
ソーシャルワーク特論		2	
福祉社会学特論		2	
生命倫理特論		2	
生涯教育特論		2	
実践領域群			
精神保健福祉特論		2	
障害児家族援助特論		2	
少年司法特論		2	
特別支援教育特論		2	
非営利組織特論		2	
ゼミナール群			
仏教福祉研究ゼミナールⅠ		2	
仏教福祉研究ゼミナールⅡ		2	
仏教福祉研究ゼミナールⅢ		2	
仏教福祉研究ゼミナールⅣ		2	
社会福祉研究ゼミナールⅠ		2	
社会福祉研究ゼミナールⅡ		2	
社会福祉研究ゼミナールⅢ		2	

② 教育福祉学専攻

福祉と教育双方へアプローチし、それぞれの高度な専門的理論と実践を探究できる専門家を養成することを目的とする。

授業科目	必修	選択	備考
基礎共通領域群			修了要件 基礎共通領域群4単位、ゼミナール群8単位の必修科目12単位と、基礎共通領域群、理論領域群、実践領域群から18単位以上（その内理論領域群の教育領域、「生涯教育特論」「発達心理学特論」「教育心理学特論」から2単位、実践領域群の教育領域から10単位をそれぞれ必ず履修しなければならない）の計30単位以上を修得したうえ、修士論文を提出し、審査および最終試験に合格すること。
仏教社会福祉特論	2	2	
社会福祉特論		2	
現代の教育福祉課題特論	2		
現代の社会福祉課題特論		2	
理論領域群			
○ 福祉領域			
地域福祉特論		2	
児童福祉特論		2	
ソーシャルワーク特論		2	
家庭福祉特論		2	
○ 教育領域			
生命倫理特論		2	
現代保育特論		2	
生涯教育特論		2	
発達心理学特論		2	
教育心理学特論		2	
実践領域群			
○ 福祉領域			
精神保健福祉特論		2	
児童養護問題特論		2	
障害児家族援助特論		2	
少年司法特論		2	
○ 教育領域			
特別支援教育特論		2	
教育相談特論		2	
教育学特論		2	
情報メディア教育特論		2	
健康特論		2	
音楽表現特論		2	
教育研究〔国語〕		2	
教育研究〔算数〕		2	

教育研究〔音楽〕		2
教育研究〔図画工作〕		2
教育研究〔体育〕		2
教育研究〔生活〕		2
教育研究〔社会〕		2
教育研究〔家庭〕		2
領域研究〔健康〕		2
領域研究〔人間関係〕		2
領域研究〔環境〕		2
領域研究〔表現・音楽〕		2
領域研究〔表現・造形〕		2
領域研究〔表現・身体〕		2
ゼミナール群		
教育福祉研究ゼミナールⅠ	2	
教育福祉研究ゼミナールⅡ	2	
教育福祉研究ゼミナールⅢ	2	
教育福祉研究ゼミナールⅣ	2	

(2) 博士後期課程

福祉学を高度に応用し他の専門領域と共働して指導的立場に立てる広義の社会福祉研究者・実践者を養成すること、ならびに、そのために必要な教育研究を行うことを、人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的とする。

① 社会福祉学専攻

授業科目	必修	選択	備考
研究指導			修了要件 指導教授について毎週1回以上、3年間にわたり研究指導を受けること。 選択必修科目から12単位以上を取得し、かつ博士論文を提出し、審査および最終試験に合格すること。
選択必修科目			
社会福祉特殊講義Ⅰ		2	
社会福祉特殊講義Ⅱ		2	
社会福祉特殊講義Ⅲ		2	
社会福祉特殊講義Ⅳ		2	
社会福祉特殊講義Ⅴ		2	
仏教福祉特殊講義Ⅰ		2	
仏教福祉特殊講義Ⅱ		2	
人間福祉特殊講義Ⅰ		2	
人間福祉特殊講義Ⅱ		2	
人間福祉特殊講義Ⅲ		2	
人間福祉特殊講義Ⅳ		2	